

令和3年度

**在宅医療・介護連携推進事業計画（案）**  
～ありたい姿の実現を目指して～

第1回つくば市在宅医療・介護連携推進協議会

# Plan 現状分析、課題抽出、施策の立案

## 課題の抽出（令和2年度事業評価のまとめより抜粋）

- ・つくば市の医療と介護の現状分析を継続的に実施する必要がある。
- ・医師との連携を取りにくいとの声があり、引き続き連携タイムの周知が必要である。
- ・「つくば市の医療と介護のありたい姿」について専門職も含め市民に周知を図る必要がある。
- ・「多職種連携のために気を付けたいこと10」「退院前情報共有チェックリスト」「お薬手帳の活用」の活用を促進させる必要がある。
- ・医療介護関係者と地域包括支援センターの顔の見える関係づくりが必要である。
- ・専門職に対するACPについて、さらに理解を深める必要がある。
- ・ICTを使った連携ツールの運用を検討する必要がある。
- ・市民が人生の最終段階における医療・介護・生活について早い段階から考えることができるよう、在宅医療・看取り・ACPの啓発を行う必要がある。
- ・市民に対して、オンラインを活用した講演会等を検討しつつ、必要な情報が届く啓発方法を検討する必要がある。

# Do 対応策の実施

## (1) 希望の最期を共に考える

### <重点目標>

- ・市民に対し在宅医療についての情報を発信し、認知度を上げる。
- ・まず専門職がACP（人生会議）について理解を深め、市民に伝えることができるようにする。

### (評価部会)

- ・ありたい姿に向けた目標値の設定
- ・在宅医療、ACP、家族への支援体制について調査結果の評価（高齢者福祉計画策定のためのアンケート調査）
- ・将来の人口動態、つくば市の特性に応じたニーズ等を推計するため、現状値を確認
- ・つくば市の医療と介護の現状分析をするため、現場の専門職からのヒアリング

### (啓発講座部会)

- ・啓発講座の内容、開催方法の検討
- ・地域の医師、CMによる在宅医療、介護啓発講座の開催

### (研修部会)

- ・専門職へのACP（人生会議）を踏まえた研修会の開催

### (情報発信部会)

- ・市HPに在宅医療・介護について、内容の見直し
- ・健康フォーラムつくば+において市民向けの啓発映像配信（在宅医療について）

## (2) 本人を第一に考えた多職種連携

### <重点目標>

- ・「多職種連携のために気を付けたいこと10」「退院前情報共有チェックリスト」の運用について、多職種・病院からの意見を聞き、活用しやすいものにしていく。
- ・お薬手帳の活用を市民や多職種に周知していく。

### (意見交換部会)

- ・連携ツール活用に向けた意見交換会の開催（活用普及啓発部会と共同）
- ・病院関係者（SW・退院調整看護師）と地域包括支援センターの意見交換会の開催

### (情報発信部会)

- ・ICTを使った連携ツールの運用を検討する
- ・専門職が連携に必要な社会資源等の情報把握（高齢者の地域包括ケアのためのミニ知識2021）
- ・在宅医療と介護のサービスマップ・介護保険情報誌ハートページの発行

### (活用普及啓発部会)

- ・連携ツールとして「連携タイム」「多職種連携のために気を付けたいこと10」「退院前情報共有チェックリスト」の活用促進
- ・お薬手帳、ツクツク見守りたい等の活用推進
- ・連携ツール活用に向けた意見交換会の開催（意見交換部会と共同）

## (3) 専門職のスキルアップとやりがい

### <重点目標>

- ・研修会や意見交換会を通じて関係職種との顔の見える関係づくりを行い、スキルアップとやりがいにつなげる。

### (研修部会)

- ・研修企画及び実施

①ACPIに関する研修会      ②在宅医療や地域包括ケアに関する研修会

### (意見交換部会)

- ・連携ツール活用に向けた意見交換会の開催（活用普及啓発部会と共同）（再掲）
- ・病院関係者（SW・退院調整看護師）と地域包括支援センターの意見交換会の開催（再掲）

### (情報発信検討部会)

- ・市HPやICTを活用した種別団体や関係機関の研修情報の発信と情報交換の検討

## (4) 認知症になっても安心して暮らせる地域（他事業・協議体での重点事項）

- ・認知症サポーター養成講座
- ・認知症カフェ
- ・認知症地域支援推進員の配置
- ・認知症初期集中支援チームの開催

## (5) 多様な生活の場の提供 (高齢福祉課事業含む)

- ・在宅医療サービスの基盤を整備する
- ・介護保険施設の整備

## (6) 相互に支え合う生活支援・介護予防 (他事業・協議体での重点事項)

- ・居場所づくり (高齢者憩いの広場・ふれあいサロン) の充実
- ・介護予防事業の実施 (介護予防・生活支援サービス事業・一般介護予防事業)
- ・買い物弱者への支援

## (7) 誰一人取り残さない

### <重点目標>

- ・各圏域の地域包括支援センターの周知を図り、相談に迅速かつ柔軟に対応できるようにする。

### (意見交換部会)

- ・地域包括支援センターの相談体制の充実

### (他事業)

- ・実態把握訪問の実施 (介護保険未利用者、健診未受診かつ医療機関未受診者等)

# Check 対応策の評価

## ありたい姿の進捗管理

### ●ありたい姿 1

- ・普及啓発講座の開催回数・参加人数
  - ・在宅看取り数
  - ・自宅死の割合
  - ・市民のACP周知度
  - ・在宅医療の認知度
  - ・要介護高齢者の介護への満足度
  - ・家族の介護負担感
  - ・在宅療養を希望する市民の割合
  - ・エンディングノート作成度
- 注) 下線は、高齢者福祉計画策定のためのアンケート時に把握

### ●ありたい姿 2

- ・意見交換会の参加人数
- ・ケアマネジャーと医療機関との連携状況
- ・退院調整を受けた患者数
- ・地域包括支援センターの相談件数

### ●ありたい姿 3

- ・各種研修会への参加人数
- ・研修後のケアマネジャーの意識変化
- ・ケアマネジャーの仕事の満足度

### ●ありたい姿 4

- ・認知症初期集中支援チーム支援者数
- ・認知症サポーター数

### ●ありたい姿 5

- ・在宅医療提供医療機関、訪問看護ステーション数
- ・訪問診療回数、訪問看護実施数
- ・ショートステイのベット数
- ・通所系サービス
- ・施設サービス
- ・居住系サービスの要支援
- ・要介護認定者一人あたり定員数

### ●ありたい姿 6

- ・ふれあいサロン件数
- ・高齢者憩いの広場件数

### ●ありたい姿 7

- ・地域包括支援センターが把握している高齢者の割合
- ・見守り支援登録者数

# ACT 改善

- ・各実務部会で振り返り評価の実施
- ・第3回在宅医療介護連携推進協議会において、実施状況及課題の検討を行う。

## 令和3年度 年間予定（別紙参照）

- ・在宅医療介護連携推進協議会（年3回）
- ・在宅医療介護連携推進協議会 実務部会